

イベントのご案内

市大生へラウンジをPR

市大の中にある「ラウンジ」をもっとよく知ってもらうために 6月15日、16日の2日間、学生食堂の入り口前で学生にちらしを配り、ラウンジボランティア会の活動紹介と入部の呼びかけをしました。言語のボランティア(情報広報部)、11月開催のラウンジフェスティバル実行委員、国際交流会の準備委員などへの参加を呼び掛け、興味のある学生には各部の部員が学生と直接話し、説明をしました。

その後、情報広報部には3名(アメリカ、中国)、ラウンジフェスティバル実行委員には2名、国際交流部には4名が入部しました。

ラウンジでともに活動してもらうためのよい機会になったと思います。



わたしたちと一緒に
国際交流ボランティア活動してみませんか!

言語ボランティア募集
中国語、スペイン語、英語、韓国語
他言語: 英語、通訳
(連絡先: 情報広報部)

ラウンジフェスティバル
実行委員募集
11月6日(土)「APECの国際交流イベント」
「第2回金沢ラウンジフェスティバル」の企画・実行
(連絡先: ラウンジフェスティバル実行委員会)

国際交流会企画準備委員募集
「APEC」を通じて、外国人と
外国人との交流イベントの企画・運営
具文化を知るチャンスです! (連絡先: 国際交流部)

金沢国際交流ラウンジニュース

No.13
2010年7月20日発行

発行 金沢国際交流ラウンジボランティア会
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜市立大学シーガルセンター 2F
TEL:045-786-0531 / FAX:045-786-0532
URL <http://www.kanazawalounge.org/>

一人ひとりの交流から広がる国際協力 AOTS横浜研修センターにて「講演会」実施

7月5日(月)福浦の(財)海外技術者研修協会(AOTS)の施設をお借りしてラウンジ主催の「講演会」を実施しました。講師はAOTS横浜研修センター館長の米田様、(株)勝製作所総務部の吉村氏、並木第一小学校長の上條氏の3名でした。「一人ひとりの交流から広がる国際協力」というテーマのもとに3名の講師から、それぞれ海外からの研修生、外国人就労者、外国人児童について、その受け入れ、取り組み、実情、課題等について3者の観点からお話をお聞きすることができ内容の充実した会になりました。

リーマンショック後の経済変動から受けている影響は公的機関も企業も同様で、厳しいものがあります。その中であっても、技術研修、作業の過程で人と人との交流を大事にして「人づくりで世界を結ぶ」役割を果たしています。

「一人ひとりの交流から広がる国際協力」というテーマは、グローバル化に直面している各国が共通に抱えている課題です。子どもの時から異文化に溶け込み生きていく力をつけてこそグローバル化の社会作りが可能だと思います。

並木第一小学校は大変な反面、外国籍児童、日本人児童それぞれにとって違いを受け入れ異文化を理解するよい機会が与えられていると捉えることもできます。

ラウンジの会員にとって、講演会の内容は外国人の背景を把握し、今後の支援に生かすよい機会となりました。
(代表 武田美智子)

施設見学

講演会開催前の約1時間、今回の会場となった横浜研修センターの施設見学をさせていただきました。AOTSの研修事業の概略をご説明頂いた後、小グループに分かれて施設の中をご案内いただきました。研修施設は、小、中、大の研修室、体育館、ソーシャルラウンジ、食堂等、大変充実していて、研修生が健康で、快適、且つ充実した研修生活が送れるようにという配慮が随所にかがわれました。

日本語教室も見学させていただきましたが、クラスサイズも1クラス6名の小人数で、和やかな雰囲気の中に授業が進められていました。

食堂で昼食をいただきましたが、食事のメニューも豊富で、文化、宗教、習慣が異なってもそれに対応でき、料理を楽しめるよう、国際色豊かなものでした。「人づくりで世界をむすぶ」という、AOTSの人材育成の取り組みの一端を垣間見ることのできた有意義な施設見学でありました。
(日本語部長 石丸玲子)



日本語教室

AOTSとは

財団法人海外技術者研修協会(The Association for Overseas Technical Scholarship)は、国内外での研修を通じて技術協力を推進する人材育成機関で、横浜研修センターは金沢区福浦1丁目にあります。



AOTS横浜研修センターの外観



米田氏館長の講演



吉村氏の講演



上條氏の講演

お知らせ

9月 外国につながる児童生徒への日本語教師養成講座

外国籍人児童生徒を支援するボランティアのための養成講座を、9月~11月に計8回開催します。

10月31日 バスツアーで国際交流

長井海の手公園「ソレイユの丘」へバスツアーを行います(横浜市大発着)。日本開国当時のゆかりの場所などをバスで巡りながら、いろいろな国の人たちと交流を楽しみましょう。

12月 インドネシア料理

「料理で国際交流シリーズ」第2弾、12月はAPEC参加国インドネシアの家庭料理です。スパイスの効いたエスニック料理を楽しみましょう。

APEC 横浜開催関連企画

第2回金沢ラウンジフェスティバル

2010年11月6日(土) 10:00開演 金沢公会堂

- ❖異文化交流の各種イベントを企画・立案中です。
- ❖ネパール・キルギス大使館員による母国紹介、「ムエタイ」実技、韓国の太鼓、サルサ、市大生吹奏楽団等の出演を予定しています。

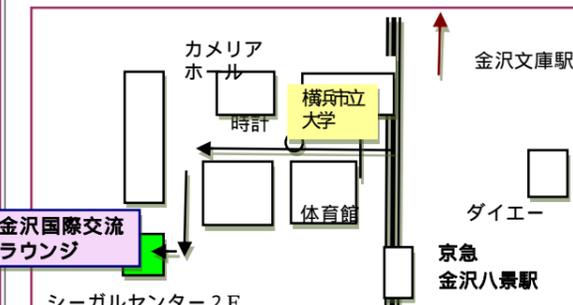
この機会に、地域の日本人・外国人との相互理解を図る為、多くの金沢区民の皆様の参加をお待ちします。



ラウンジ窓口のご案内

《開館時間》 日・火・木・金・土 9:00~17:00、
水:9:00~21:00 月・祭日は休館
外国語対応 スペイン語 火曜午後・中国語 水曜午前

〒236-0027「横浜市金沢区瀬戸 22-2
横浜市立大学内 シーガルセンター 2階



☎ 045-786-0531 Fax 045-786-0532

>多言語案内 金沢国際交流ラウンジ

毎週火曜日 13:00~17:00 スペイン語
Todos los martes 13:00~17:00 español
毎週水曜日 9:00~13:00 中国語
毎星期三 9:00~13:00 中国語

>【日本語教室】

場所: 金沢国際交流ラウンジ

日曜日 10:00~11:30
火曜日 10:00~11:30
木曜日 10:00~11:30
土曜日 10:00~11:30



日本語学習者

外国人児童の日本語教室での学習について

毎週日曜日、3名の児童に日本語を教えています。真綿に水がしみ込むように覚えていくのに驚き、楽しく学習の時間を過ごしています。 武田



右から、金揆璃さん、金揆珉さん、武田代表、林健認さん。

私は十一月八日にラウンジに来て武田先生と日本語の授業をしたとき、休みじかんにおさんぽしながら木をかぞえたり右とか左とかのべんきょうをしました。市大の池に行ってこいにえさを上げました。そのことを文で書きました。そして教室の中でべんきょうをするときは、プリントで作文をつくるのがいちばんのしいです。私はその問題がたくさんあるから、まいしゅう日曜日にたのしく来ています。そして日本語が上手になるようにがんばりたいです。

八景小五年生 金揆璃(キンキユリ)
(平成二十一年十月、韓国から来日)

ぼくは十一月から市大に来て日本語の勉強をはじめました。日本語を学ぶのは、むずかしかったと思いましたが、ほんとはおもしろかったです。先生と一番楽しく勉強したのは休み時間でした。外ではしるとかあるいて、ものなまえをおぼえました。

八景小四年生 金揆珉(キンキユミン)
(平成二十一年十月、韓国から来日)

ぼくは九月六日から市大ラウンジで日本語のべんきょうをはじめました。先生は武田みち子先生です。先生のじゅぎょうで一番楽しかったのは、ぼくの声でたくさんこいがあつまってえさをあげたことです。えさはサニーマートでかいました。「あげる」と「もらう」ことをおぼえました。まいしゅうたのしかったです。

六浦小三年生 林健認(ハヤシケンイ)
(平成二十一年九月、中国から来日)

原文のママ掲載しました。

料理で国際交流

6月12日日本料理に参加した外国人の声

日本の生活が長いので、家でもタイ料理より日本の料理を多く作っています。きんぴらや酢の物を手際よく作れるようになりました。
タイの女性

あく抜きをしないで調理すると、ごぼうの香りが残っていてよかった。さつま揚げは初めて食べました。グループで一緒に作り、一緒に食べたので、楽しくおいしかったです。
韓国の女性

給食できんぴらは食べたことはありますが、ごぼうを見たのは初めてでびっくりしました。きゅうりとワカメとシラスの酢の物が気に入ったので、家でも作りたいです。
ペルーの女性と小学生



APEC関連事業(小学校講師派遣)

APEC 参加国・出身者が小学校で交流



6月24日付 神奈川新聞より

6月23日 金沢区八景小学校でタイの「ムエタイ(タイ式ボクシング)」を披露しました。児童は生の格闘技を見、またパンチ、キックの体験に参加し、盛り上がりました。

(日本語教室学習者 前田ユタボン氏と所属ジム)



7月8日 金沢区小田小学校で6年生児童に韓国のことは、文化を金氏が教えました。「名前を韓国語で書いてみよう」の試みには児童が初めての韓国語に意欲的に挑戦していました。

(情報広報員 金井 昌子氏)

国際交流部

「日本の家庭料理で国際交流」

部員と濱野様を講師として、「日本の家庭料理」に外国の方、ペルー、中国、韓国、タイ、インドネシアの方が参加しました。メニューは6品で、塩昆布の即席漬けきゅうり、ワカメとシラスの酢の物、きんぴらなどの料理です。きんぴらの材料であるゴボウはめずらしいようで、泥の洗い流し方、切り方など多くの質問がでました。ペルーや中国の小学生の子どもたちも参加していたので、冷やし白玉汁粉を作りました。

料理が出来上がり、それぞれの国の料理方法など聞きながら楽しく食事をしました。「作った料理はとても簡単でおいしいので家でも同じように作ってみます」と喜んでいました。



情報広報部

「在住外国人のための地震防災活動への取り組みについて」

最近、世界中で大地震が起っていますが、地震の備えは大丈夫ですか! 情報広報部では自治体と協力して「外国人のための防災支援のあり方」を進めてまいります。災害が発生した時に外国人に「どのように行動すればよいか、どのような支援ができるか」といったことを調べ、少しずつマニュアルを準備していきたいと思えます。

- ・どこへ避難すればよいの?
- ・食料・飲料がどれくらいあるの?
- ・避難地では母国語が通じるの?
- ・家族や親戚、母国と連絡を取りたいのだけど・・・
- ・外国語の話せる病院はどこにあるの?
- ・母国語の通訳をしてもらえるの?
- ・最新情報はどこで聞けばよいの?



日本語部

「月1回「日本語でしゃべろう会」を開催」

日本語部では、毎月1回「日本語でしゃべろう会」を各教室で実施しています。

学習者が日本語で話す機会を少しでも多く持ち、「自分が言いたいことを、聞き手に伝えることが出来る表現力を養うこと」を目的としています。

この活動の継続により、3月のスピーチ発表会にも自信を持って臨めるようになればと考えています。

各教室の今回の話題は、「自分の好きなこと、得意なこと」「自己紹介」「擬音語の国による比較」などでした。小学生が上手に自己紹介をしている様子は、微笑ましく、頼もしく、目に映りました。



窓口部

「市大留学生新入生歓迎会に招待されて」

5月20日、市大シーガルセンターにて市大留学生の2010年度新入生歓迎会に招待されました。市大より重田副学長、国際学務課の伊藤氏の挨拶の後にラウンジからも掲示パネルを使用してラウンジの活動を紹介しました。

会場には約50名の各国の新旧留学生が集まり、ラウンジからは国際交流、日本語部、情報広報部、窓口部の各部長等計5名が参加した。余興で日本の歌「ふるさと」をラウンジ参加者全員で熱唱し、市大留学生と楽しく交流を図ることが出来ました。市大生とは今後のイベント等への企画段階からの参加を積極的に進めたいと思えます。

